

住宅フェアで岩手県産材 PR

1 目的

岩手県産材のPRを行うため、平成25年7月13日～14日に、宮城県で住宅の耐震化等をテーマに開催された住宅フェアに参加しました。

2 実施概要

(1) 岩手県ブースの概要

岩手県ブースは、けせんプレカット事業協同組合、協同組合ノルトヴイン、県で出展と運営を行いました。

出展は、プレカット加工をした集成材等を利用した在来工法の躯体に、床を合板とスギフローリングで作成して展示を行いました。また、いわて森の棟梁等のパネル展示や復興住宅等に関するパンフレットを配付するとともに、けせんスギのキャラクターも参加しました。（図-1）

(2) 来場者の反応等

開催時期が、復興事業が具体的に動き出した時期と重なったためか、会場のあちこちで、商談等が行われていました。岩手県ブースにおいても、品質や納期に関する問い合わせなどがあり、岩手県産材の躯体を見ながら確認してもらう良い機会となったようです。

昨年度よりも岩手県からの来場者が多かったようで、一部のパンフレットは、初日で在庫が尽きたものもありました。

キャラクターショー、積み木、木工のコーナーは、終日、子供達の声で溢れていて、家族ぐるみで

住宅や木材に触れる良い機会となったようです。（図-2）

岩手県産材の広報の場として有効であることだけでなく、他の地域やメーカーの考えを知ることができる機会なので、定期的に住宅フェアへ出展し、情報収集の場として活用する必要性を再認識しました。



図-1 岩手県ブース



図-2 積み木コーナー